

アンナ・グトヴスカ Anna Gutowska Violin

ポーランドのジェシエフに生まれる。現地の音楽学校を優秀な成績で卒業後、ローザンヌ高等音楽院を経て、ウィーン国立音楽大学演奏学部・ヴァイオリン専攻科にてエドワルド・チェンコフスキー教授に師事。同大学を最優秀の成績で卒業し、文化芸術大臣賞を受賞。ポーランド国内、及び数々の国際コンクールにて受賞。J.マヌエル&エヴァマリア・シェンク財団、マッジーニ財団、東京ファンデーション、メニューイン財団等から奨励賞及び奨学金を授与される。

ベルリン・フィルハーモニーホール、ウィーン楽友協会、ウィーンコンチェルトハウス、上海シンフォニーホール、ローザンヌ・メトロポール劇場、北京国家大劇院、中国広州オペラハウス等、国際舞台でソリストとして活躍。室内楽奏者としてもアメリカ、ポーランド、イラン、オーストリア、イタリア、フランス、チリ、メキシコ、ドイツ、スイス、中国、日本、ジョージア、チェチェン、ポルトガルなど、各国のフェスティバルに招待されている。

CD は、ポズナン・フィルハーモニー管弦楽団との共演でヘンリク・ヴェエニャフスキのヴァイオリン協奏曲を2曲収録。

2016年よりウィーン国立音楽大学講師。主に青少年タレントコース及び、演奏学部弦楽器ヴァイオリン予備科の生徒を指導。ポーランド、クウェート、ジョージア、オーストリア、イラン、メキシコ、チリ、中国、日本、スロバキア、イタリア、などで講習会を精力的に行い、数多くの音楽コンクールの審査員を務めている。